

2005 年度中間決算説明会

主な Q&A

Q：国内の貸出残高ならびに利鞘が減少しているが、今後の見通しについてお聞きしたい。

A：景気回復に伴い即貸出が拡大するとは考えていない。大企業向けには、貸出を拡大するというよりは投資銀行業務のニーズに応えていく。また、中小企業向けには商品開発等の努力により貸出を伸ばしていく方向であり、実際、(モデル審査等の)システムを活用した迅速な対応を特徴とする中小企業向けローンの開発や、TKC、大同生命との提携等を進めて実績を積んでいる。利鞘については、中小企業向け新商品等の分野で前進が見られるものの、当面貸出利鞘全体を押し上げるのは難しい。

Q：貸出について、合併によりかなりのシェア調整を覚悟していると伺ったが、シェア調整によるマイナス影響やその時間軸をどう見ているか。

A：上期については、商業銀行の合併延期の影響もあつてか、シェア調整によるマイナスはそれほど大きくないと認識している。ただ、向こう数年間では残高1兆円程度のシェア調整はあるものと見て計画を立てている。

Q：公的資金返済の過程で取得した自己名義の普通株式は今後どうするのか。

A：今の段階では具体的な方針を決めていない。

Q：純利益を株主還元策としてどう使っていくか。

A：ステークホルダーへの還元は重要なテーマだが、一方で将来に向けて必要な投資もやっていかないといけない。当面は公的資金返済が最重要課題の1つであるが、返済後、色々と検討していく。